

## 文化・芸術

### 「婦人像A」

1942年、油彩、カンバス  
35.0cm×27.6cm

松本竣介 (1912～48年)

明けましておめでとうございます。今年もこのコラムをご愛読いただければ幸いです。今年2024年は、当館の創設者で初代館長の大川栄二（1924～2008年）の生誕100年を記念して、27日から企画展「コレクターの目」を開催いたします。

大川は桐生に生まれ、自ら「サフリーマン・コレクター」と称して1955年ごろから仕事の傍ら作品を収集し、89年にこの地に美術館を開館しました。自身の目で作品を選び集める中で、「絵は人格」との独自の哲学に至った大川は、中でも松本竣介の作品に魅了され、竣介と野田英夫を中心にコレクションの幅を広げてくださいました。

昭和の時代を駆け抜け、平成の幕開けとともに開館した当館のコレクションは、現在では7500点を数えます。本展では大川が最初に手にした竣介の作品「ニコライ堂の横の道」（41年）をはじめ、大川が自らの目で見定めた作品を2部構成で展覧します。個性的なコレクターの美術への情熱を、コレクションを通してご覧ください。

(大倉)



### 名画の扉

大川美術館企画展「大川栄二生誕  
100年記念 コレクターの目」から